

令和 5年度予算見積調書

課室名: 社会福祉課
 担当名: 総務・社会福祉担当
 内線: 3221

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業		
N508	権利擁護センター運営費		一般会計	民生費	社会福祉費	社会福祉総務費	権利擁護センター運営費		
事業期間	平成 9年度～	根拠法令	社会福祉法第81条・83条・85条(義務)、老人福祉法第4条障害者基本法第4条、第24条、障害者虐待防止法第36条、他		針路	07 誰もが活躍し共に生きる社会の実現	SDGsゴール	3	
					分野施策	0703 障害者の自立・生活支援	SDGsターゲット		
1 事業概要			5 事業説明						
意思能力の不十分な認知症高齢者及び障害者の権利擁護、権利侵害防止及び福祉サービス利用援助事業を行う。また、福祉サービス利用者の福祉サービスに対する苦情を受け付け、公正・中立な立場から、その解決策のあつせんを行う。 ア 福祉サービス苦情解決事業 5,369千円 イ 「障害者110番」運営事業 3,869千円 ウ 認知症高齢者・知的障害者権利擁護機関運営事業 145,181千円			(1) 事業内容 ア 福祉サービス苦情解決事業 福祉サービス利用者の苦情に対する解決策の実施 イ 「障害者110番」運営事業 (ア) 「障害者110番」運営事業 障害者からの権利擁護に関する相談 (イ) 「障害者権利擁護センター」運営事業 障害者虐待に係る通報・届出の受理 ウ 認知症高齢者・知的障害者権利擁護機関運営事業 (ア) 認知症高齢者・知的障害者権利擁護機関運営事業 弁護士等専門家による権利擁護相談・権利侵害の防止及び救済の実施 (イ) 福祉サービス利用援助事業 利用者との契約による福祉サービスの利用の支援の実施 (2) 事業計画 意思能力の不十分な認知症高齢者及び障害者の権利擁護、権利侵害防止及び福祉サービス利用援助事業を行う。また、福祉サービス利用者の福祉サービスに対する苦情を受け付け、公正・中立な立場から、その解決あつせんを行う。 (3) 事業効果 権利擁護施策の実施により、権利侵害の防止や効果的な救済、福祉サービスの適切な利用や財産管理の不安解消が図られる。また、福祉サービス苦情解決事業の実施により、福祉サービスの密室化を防止し、利用者への虐待等を未然に防ぎ、福祉サービスの質の向上が図られる。						
2 事業主体及び負担区分									
生活困窮者就労準備支援事業費等補助金(国1/2・県1/2)事業者0									
地域生活支援促進事業費補助金(国1/2・県1/2)事業者0									
3 地方財政措置の状況									
地方交付税単位算定あり (1)・(3)(細目)社会福祉事業費(細目)社会福祉共通費									
(2)(細目)身体障害者福祉費(細目)身体障害者保護事務費									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員									
9,500千円×0.4人=3,800千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との対比
		国庫支出金							
決定額	154,419	73,562					80,857	0	
前年額	154,419	73,562					80,857		

事業内訳書

事業名	権利擁護センター運営費		
単位事業名	福祉サービス苦情解決事業	予算額	5,369千円

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	5,369	0	埼玉県社会福祉協議会への補助金
合計	5,369	0	

単位事業名	「障害者110番」運営事業	予算額	3,869千円
-------	---------------	-----	---------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	3,869	0	障害者110番 1,934,000円 障害者権利擁護センター 1,935,000円
合計	3,869	0	

単位事業名	認知症高齢者・知的障害者権利擁護機関運営事業	予算額	145,181千円
-------	------------------------	-----	-----------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	145,181	0	埼玉県社会福祉協議会への補助金

単位事業名	認知症高齢者・知的障害者権利擁護機関運営事業	予算額	145,181千円
-------	------------------------	-----	-----------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
合計	145,181	0	